



ね ん ど
2026年度
に ほ ん ご が っ か に ゆ う が く よ う こ う
日本語学科 入学要項
(J2)

ね ん が つ に ゆ う が く
2026年4月入学

ね ん が つ に ゆ う が く
2026年10月入学

よ こ は ま が く い ん せ ん も ん が っ こ う
横浜 YMCA 学院 専門 学校
け ん こ う ふ く し せ ん も ん が っ こ う
YMCA 健康 福祉 専門 学校



よこはま がくいんせんもんがっこう ★横浜 Y M C A 学院専門学校★

横浜 Y M C A 学院専門学校 日本語学科では、本格的な日本語の習得を目指して「聴く」「話す」「読む」「書く」の4技能全てにわたる総合的な日本語力を養成します。専門学校・大学・大学院への進学や日本語を仕事に役立てたい方に最適です。

■コース：学習の目的に応じて二つのコースがあります。

コース名	入学時期	学習期間
日本語本科	2026年4月	1年（2026年4月～2027年3月）
	2026年10月	1年（2026年10月～2027年9月）

★入門レベルから中級レベルまでの日本語力を養成します。日常生活に役立つ基礎的な日本語によるコミュニケーション力が身につきます。

コース名	入学時期	学習期間
日本語・文化研究科	2026年4月	1年（2026年4月～2027年3月）
	2026年10月	1年（2026年10月～2027年9月）

★上級レベルの日本語力を養成します。進学や就職など社会生活の様々な場面で役立つ実践的な日本語によるコミュニケーション力が身につきます。

※日本語本科を修了した学生は希望すれば日本語・文化研究科に進み、最長で2年間日本語を学ぶことができます。

※所定の期間在籍し、出席と成績の条件を満たした学生に卒業証書を発行します。

■定員：総定員120名（日本語本科80名、日本語・文化研究科40名）

※各クラスの人数は最大20名となります。

■授業時間：一日5時間、月曜日から金曜日まで週5日間（週25時間、年間36週・900時間）

ホームルーム	1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目
H R					
9:00～9:10	9:10～10:00	10:10～11:00	11:10～12:00	13:00～13:50	14:00～14:50

※土・日・祝日は休みです。

※長期休暇があります。詳しくは年間予定表をご覧ください。

☆夏休み（7月下旬から8月中旬までの約3週間）

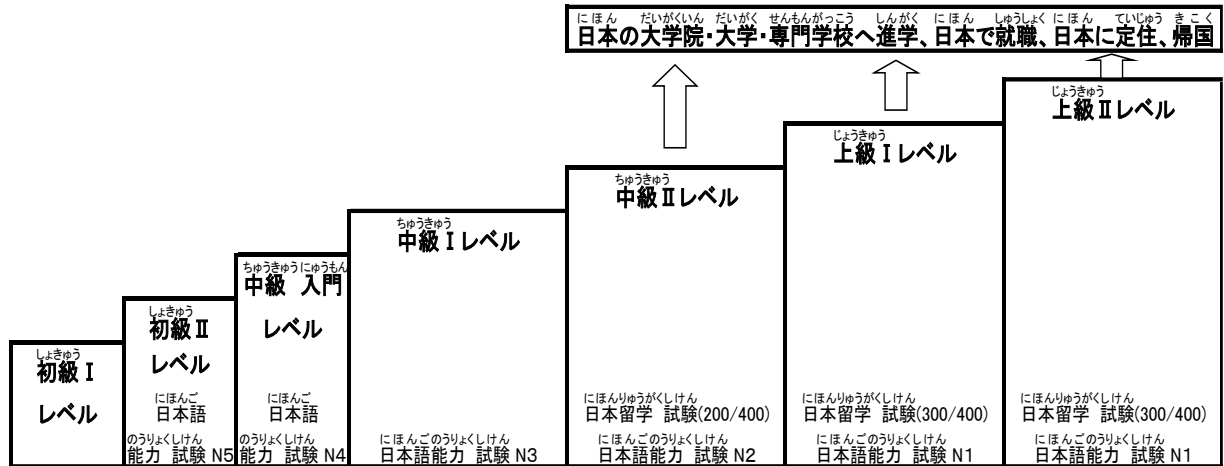
☆秋休み（9月中旬から10月上旬までの約3週間）

☆冬休み（12月下旬から1月中旬までの約3週間）

☆春休み（3月中旬から4月上旬までの約3週間）

- 入学資格：①出身国において12年間の学校教育を修了している方、または出身国において大学等の高等教育機関への入学資格を有する方
- ②有効な在留資格（ビザ）を持っている方
- ③日本語・文化研究科への入学には日本語能力試験N2相当の日本語力が必要です。
- ④日本在住の連絡人がある方

■レベル：



き かん 期 間	6ヶ月			6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
		6ヶ月					
メインテキスト	みんなの にほんご 日本語Ⅰ	みんなの にほんご 日本語Ⅱ	ちゅうきゅう い 中級へ行こう	ちゅうきゅう まな 中級を 学ぼう	テーマ別中級から学ぶ にほんご 日本語	新・中級から上級への にほんご 日本語	こっきょう こ 国境を越えて
か も く 科 目	かんじ 漢字・LL・読解・会話・作文 どっかい かいわ さくぶん			かんじ 漢字・LL・速読 かいわ さくぶん 会話・作文	かんじ 漢字・LL・会話 さくぶん ぶんぼう かつどう 作文・文法・活動	かんじ 漢字・LL・会話 さくぶん ぶんぼう かつどう 作文・文法・活動	かんじ 漢字・LL・会話 さくぶん ぶんぼう かつどう 作文・文法・活動
レベルの めやす 目 安	にちじょうてき ばめん つか 日常 的な場面で使わ れる日本語をある程度 理解することができる。 日常生活で の身近なことがらについて簡単なや り取りができる。			にちじょうてき ばめん つか 日常 的な場面で使わ れる日本語をある程度 理解することができる。 社会生活での身近な話 題について自分の意見 とその理由を簡単に表 現できる。	にちじょうてき ばめん つか 日常 的な場面で使わ れる日本語の理解に加 え、幅広い場面で使わ れる日本語をある程度 理解することができる。 社会生活での幅広い話 題について明確に自分 の意見を表現できる。	はばひろ ばめん つか 幅広い場面で使われる日本語を理解することが できる。様々な話題について目的に合った適切 な言葉を使い、論理的な主張や議論ができる。	

■ビザの種類：9 ページをご覧ください。

■学費：各コースの学費は以下の通りです。

コース名	入学金	授業料	施設費	合計
日本語本科	100,000円	780,000円	30,000円	910,000円
日本語・文化研究科				

※上記以外に教材費など諸経費(6 か月毎に 20,000円)が必要になります。

かく がく ひ はんとしごと ぶんのう
各コースの学費は半年毎の分納ができます。

し は ら じ き 支払い時期	にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料	し せ つ ひ 施設費	ごうけい 合計
にゅうがくじ がつ がつ 入学時 (4月/10月)	100,000円	390,000円	15,000円	505,000円
が つ よくとし が つ 8月/翌年2月				405,000円

いっただんのうにゅう がく ひ りゅう へんきん ちゅうい
※一旦納入された学費は理由によらず返金できませんのでご注意ください。

■ 出 願 ・ 入 学 試 験 :

		しゅつがんきかん 出願期間	しけん び 試験日
ねん 2026年 が つ にゅうがく 4月 入 学	だい かいしけん 第1回試験	ねん が つ ふつか げつ が つ にち げつ 2026年2月2日 (月) ~ 3月23日 (月)	ねん が つ にち すい 2026年3月25日 (水)
	だい かいしけん 第2回試験	ねん が つ ふつか げつ が つ にち か 2026年2月2日 (月) ~ 3月31日 (火)	ねん ついたち すい 2026年4月1日 (水)
ねん 2026年 が つ にゅうがく 10月 入 学	だい かいしけん 第1回試験	ねん が つ いたち ど が つ にち ど 2026年8月1日 (土) ~ 9月19日 (土)	ねん が つ にじゅうよっか もく 2026年9月24日 (木)
	だい かいしけん 第2回試験	ねん が つ いたち ど が つ にち すい 2026年8月1日 (土) ~ 9月30日 (水)	ねん が つ いたち もく 2026年10月1日 (木)

にゅうがくしけん う ひ えら よやく しけん ころ
※入 学 試験を受けたい日を選んで予約してください。試験は 9:10 から 11:00頃までです。

9:00 に日本語学科受付に来てください。

※試験日には筆記用具 (鉛筆と消しゴム)、これまでの日本語の教科書を持ってくる。にほんご きょうかしよ も

※第 1 回の試験結果は 1 週 間 以内にお知らせします。また、第 2 回の試験結果は当日中に
お知らせします。にゅうがく きよか ばあい してい きじつ がくひ しはら
入学が許可された場合は指定の期日までに学費をお支払いください。

■ 在日連絡人 : 9 ページをご覧ください。

■ 経費支弁者 : 9 ページをご覧ください。

■ その他 :

《 奨 学 金 》

ほんこう げつ い じょうざいせき せいせき しゅつせきじょうきょう りょうこう がくせい せんこう うえしょうがくきん あた
本校に 6 ヶ月以上 在籍し、成績・出席 状 況 が良 好 な学生には選考の上奨 学 金 が与えら
れます。

よこはま がくいんせんもんがっこうにほんごがっかしょうがくきん つき えん げつかん はんき めいていど
横浜 Y M C A 学院専門学校日本語学科奨 学 金 (月10,000円、6 ヶ月間、半期 4 名程度)

《 通 学 定 期 》

つうがくていき こうにゅう がくわり はっこう かのう
通学定期の購 入 と学割の発行が可能です。

《 専 修 学 校 学 生 災 害 傷 害 保 険 》

がっこう かつどう なか さいがい じ こ し ぼう にゅういん つういん ほしょう
学校の活動の中での災害や事故による死亡・入 院 ・通院について補償します。

ほけんりょう がっこう しはら
保険料は学校が支払います。

《 健 康 診 断 》

がっこう ひょう ふたん ねん かいけんこうしんだん う
学校が費用を負担し、1 年に 1 回健康診断が受けられます。

《 ボランティア・チューター制度 》

きぼうしや にほんじん ほうかご かいわ れんしゅうあいて
希望者には日本人のボランティア・チューターが放課後に会話の練 習 相手をします。

《付属の施設の利用》

日本語学科がある横浜中央YMCAには、プール・トレーニングルーム及びランニングトラックがあります。日本語学科の学生は、指定された時間に無料で利用することができます。

《2024年度 主な進学先》

大学：東洋大学、鈴鹿大学 など

専門学校：横浜YMCA学院専門学校（国際情報ビジネス科）

東京YMCA医療福祉専門学校（作業療法学科）、岩谷学園よこはまITビジネス専門学校、

横浜システム工学院専門学校、日本電子専門学校、横浜日建工科専門学校、

HAL東京、ファッションビジネスカレッジ東京、ヨコスカ調理製菓専門学校、

日産横浜自動車大学校、ホンダテクニカルカレッジ関東 など

《2024年度 主な就職先》

株式会社テクノプロ&コンストラクション、株式会社NMDグループ、株式会社プレジャー、

株式会社エクセレンディブ、株式会社モスウェル、株式会社オーツホーム、

山商リフォームサービス株式会社、株式会社DESIGNTAG、エステ産業株式会社 など

《2024年度 日本語能力試験受験結果》

第1回	N 1 受験者	10名	N 1 合格者	5名	／	N 2 受験者	13名	N 2 合格者	8名
第2回	N 1 受験者	10名	N 1 合格者	5名	／	N 2 受験者	21名	N 2 合格者	8名

■ 出願書類：9ページをご覧ください

けんこう ふ く し せんもんがっこう ★ Y M C A 健康福祉専門学校 ★

けんこうふくしせんもんがっこう にほんごがっこう しんがく ひつよう にほんごりよく ようせい とうせんもんがっこう
Y M C A 健康福祉専門学校 日本語学科では、進学に必要な日本語力を養成するとともに、当専門学校の
にほんじんがくせい ちいき かたがた こうりゆう とお しぜん にほんご しゅうとく めざ
日本人学生や地域の方々との交流を通して、自然な日本語の習得を目指します。

■コース：

コース名	入学時期	学習期間
本科進学2年コース	2026年4月	2年（2026年4月～2028年3月）
本科進学1.5年コース	2026年10月	1.5年（2026年10月～2028年3月）

※所定の期間在籍し、出席と成績の条件を満たした学生には卒業証書を発行します

■定員： 総定員120名

※各クラスの人数は最大20名となります。

■授業時間： 午前または午後の二部制

一日4時間、月曜日から金曜日まで 週5日間、（週20時間、年間40週・800時間）

◆午前クラス（中級レベル、中上級レベル、上級レベル）

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
9:00～9:50	9:55～10:45	10:55～11:45	11:50～12:40

◆午後クラス（初級Ⅰ・Ⅱレベル、初中級レベル）

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目
13:00～13:50	13:55～14:45	14:55～15:45	15:50～16:40

※勉強するクラスは、レベルチェックテストの結果で決まります。授業時間、レベルを
選ぶことはできません。

※土・日・祝日は休みです。

※長期休暇があります。

☆夏休み（8月上旬から8月中旬まで約2週間）

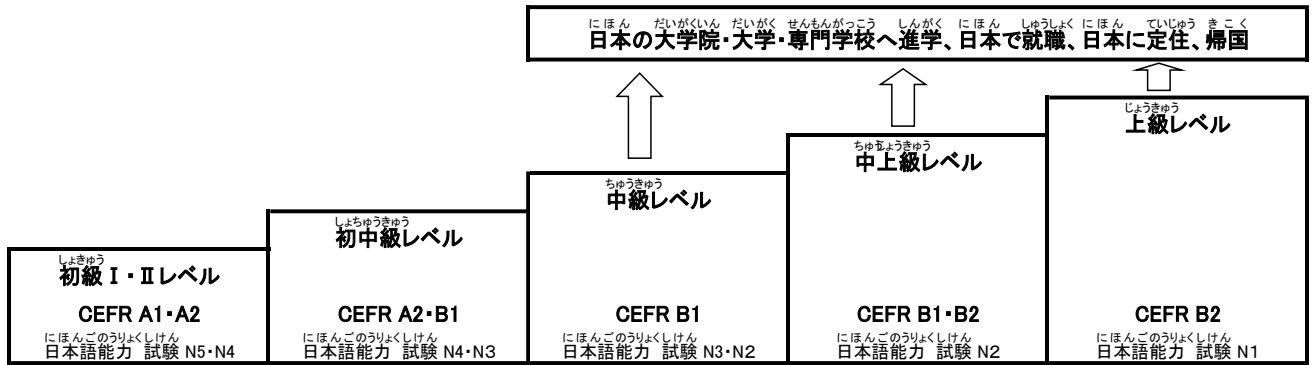
☆秋休み（9月下旬から10月上旬までの約3週間）

☆冬休み（12月下旬から1月上旬までの約2週間）

☆春休み（3月中旬から4月上旬までの約3週間）

- 入学資格： ①出身国において12年間の学校教育を修了している方、または出身国において
大学等の高等教育機関への入学資格を有する方
②有効な在留資格（ビザ）を持っている方
③日本在住の連絡人がいる方

■ レベル:



期間	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月	6ヶ月
メインテキスト	みんなの日本語 I みんなの日本語 II	みんなの日本語 II 中級へ行こう 中級を学ぼう 中級 前期	中級を学ぼう 中級 中期	新・中級から上級への日本語	新・中級から上級への日本語 学ぼう！にほんご 上級
科目	文字/漢字・聴解 読解・活動	発音・漢字・JLPT文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT対策	発音・漢字・JLPT文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT対策・日本事情	発音・漢字・JLPT文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT対策・日本事情	発音・漢字・JLPT文法 聴解・読解・作文・会話 JLPT対策・プロジェクトワーク
レベルの目安	・日常生活に必要な基本的な語彙や表現を身につけ、理解できる。 ・日常会話や自分についてのことがらが説明できるようになる。	・身近な出来事や物、人について、自分の判断を入れた説明を行うことができる。 ・日常生活の中で目的に合った交渉ができる。 ・夢や計画、興味、出来事などについて自分の考えをまとめたり、説明したりすることができる。	・社会的、文化的な話題や自分の専門分野の話題について自分の立場や考えを理由、根拠を述べて説明したり、様々な見方、考え方をまとめて意見を述べることができる。 ・話の主導権を握って、コミュニケーションをとることができる。	・ある程度抽象的な文章や話でも苦勞せずに内容を理解したり、作成することができる。 ・緊張しないで母語話者と自然にやりとりできる。 ・長所や短所等を示しながら自分の考えを説明したり、相手の主張を理解したり、自分の意見を論理的に展開できる。	・専門外の抽象的な内容を十分理解できる。 ・母語話者と立場や関係性を自然に使い分けてやりとりできる。 ・いろいろな話題について明確で詳細な文章や話をつくらことができ、客観的に自分の考えを説明できる。

■ ビザの種類: 9 ページをご覧ください。

■ 学費: 各コースの学費は以下の通りです。

① 本科進学2年コース (4月入学)

コース名	入学金	授業料	施設費	合計
本科進学 2年コース	100,000円	1,380,000円	60,000円	1,540,000円

※上記以外に教材費など諸経費(6か月毎に30,000円)が必要になります。

じょうき がくひ はんとしごと ぶんのう
上記の学費は半年毎の分納ができます。

しはら じ き 支払い時期		にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料	しせつひ 施設費	ごうけい 合計
ほんかしんがく 本科進学 ねん 2年コース	にゅうがくじ 入学時	100,000円	345,000円	15,000円	460,000円
	がっ 8月		345,000円	15,000円	360,000円
	よくねん がっ 翌年2月		345,000円	15,000円	360,000円
	よくねん がっ 翌年8月		345,000円	15,000円	360,000円

いっただんのうにゅう がくひ りゅう へんきん
※一旦納入された学費は理由によらず返金できませんのでご注意ください。

②ほんかしんがく ねん
本科進学1.5年コース (10月入学)

コース名	にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料	しせつひ 施設費	ごうけい 合計
ほんかしんがく ねん 本科進学1.5年コース	100,000円	1,035,000円	45,000円	1,180,000円

じょうきがい きょうざいひ しよけいひ げつごと えん ひつよう
※上記以外に教材費など諸経費(6か月毎に30,000円)が必要になります。

がくひ はんとしごと ぶんのう
学費は半年毎の分納ができます。

しはら じ き 支払い時期		にゅうがくきん 入学金	じゅぎょうりょう 授業料	しせつひ 施設費	ごうけい 合計
ほんかしんがく 本科進学 ねん 1.5年コース	にゅうがくじ 入学時	100,000円	345,000円	15,000円	460,000円
	よくねん がっ 翌年2月		345,000円	15,000円	360,000円
	よくねん がっ 翌年8月		345,000円	15,000円	360,000円

いっただんのうにゅう がくひ りゅう へんきん
※一旦納入された学費は理由によらず返金できませんのでご注意ください。

しゅつがん にゅうがくしけん
■出願・入学試験：

		しゅつがんきかん 出願期間	しけんび 試験日
ねん 2026年 がっしゅうがく 4月入学	だい かいしけん 第1回試験	ねん がつふつか げつ がっ にち げつ 2026年2月2日(月)～3月23日(月)	ねん がっ にち すい 2026年3月25日(水)
	だい かいしけん 第2回試験	ねん がつふつか げつ がっ にち か 2026年2月2日(月)～3月31日(火)	ねん ついたち すい 2026年4月1日(水)
ねん 2026年 がっしゅうがく 10月入学	だい かいしけん 第1回試験	ねん がついつち どの がっ にち どの 2026年8月1日(土)～9月19日(土)	ねん がっしゅうがく もく 2026年9月24日(木)
	だい かいしけん 第2回試験	ねん がついつち どの がっ にち すい 2026年8月1日(土)～9月30日(水)	ねん がついつち もく 2026年10月1日(木)

にゅうがくしけん う ひ えら よやく しけん ころ
※入学試験を受けたい日を選んで予約してください。試験は9:10から11:00頃までです。

9:00に専門学校受付にきてください。

しけんび ひつきようぐ えんびつ け にほんご きょうかしょ も
※試験日には筆記用具(鉛筆と消しゴム)、これまでの日本語の教科書を持ってくる。

だい かい しけんけつか しゅうかんない し
※第1回の試験結果は1週間以内にお知らせします。また、第2回の試験結果は当日中に
お知らせします。入學が許可された場合は指定の期日までに学費をお支払いください。

ざいにちれんらくにん らん
■在日連絡人：9ページをご覧ください。

けいひしべんしゃ らん
■経費支弁者：9ページをご覧ください。

■ その他：《奨学金》

在籍2年目の学生で、成績・出席状況が良好な学生には選考の上、下記の奨学金が受けられます。
横浜YMCA奨学金（月20,000円、1年間）

《通学定期》

通学定期の購入と学割の発行が可能です。

《専修学校学生災害傷害保険》

学校の活動の中での災害や事故による死亡・入院・通院について補償します。
保険料は学校が支払います。

《健康診断》

学校が費用を負担し、1年に1回健康診断が受けられます。

《ボランティア・チューター制度》

希望者には日本人のボランティア・チューターが放課後に会話の練習相手を行います。

《2024年度 主な進学先》

大学：聖園学園短期大学
専門学校：YMCA健康福祉専門学校（介護福祉科）、横浜YMCA学院専門学校・
神奈川経済専門学校、岩谷学園よこはまITビジネス専門学校、
横浜システム工学院専門学校、トヨタ自動車大学校、日本工学院八王子専門学校、
HAL東京、東京デザイン専門学校など

《2024年度 主な就職先》

株式会社Be Good Japan、協働組合FITサポートネットワーク本部、株式会社JHAT、
株式会社 徳寿工作所 など

《2024年度 日本語能力試験受験結果》

回数	受験者	合格者	受験者	合格者	受験者	合格者
第1回	N1 受験者 3名	N1 合格者 0名	N2 受験者 11名	N2 合格者 4名		
第2回	N1 受験者 7名	N1 合格者 0名	N2 受験者 28名	N2 合格者 6名		

■ 出願書類：9ページをご覧ください。

★ビザの種類★

かくこうきょうつう
(各校共通)

「留学」以外の在留資格(ビザ)の方が対象となります。「短期滞在」での入学はできません。学校ではビザの手配はできません。

★在日連絡人★

かくこうきょうつう
(各校共通)

当校への出願には在日の連絡人が必要です。連絡人は出願書類の準備、提出を行うとともに、入学後は学校と協力して学習面での指導をお願いする場合があります。在日連絡人の資格は次の通りです。

- ①出願者の親戚・知人・友人で出願者本人とその家族を良く知る方であること
- ②日本に生活の基盤がある方で日本語、日本の法律・文化・習慣を良く理解している方であること

★経費支弁者★

かくこうきょうつう
(各校共通)

本校在学中の全ての経費を責任を持って負担する方が「経費支弁者」です。経費支弁者の方には「経費支弁書」を提出していただきます。

★出願書類★

かくこうきょうつう
(各校共通)

■出願書類: 以下の注意をよく読み、記入例を参考にして必要書類を作成してください。学生本人と在日連絡人が以下の書類を持参し、日本語学科へ直接お申込みください。

- ①ペンまたはボールペンで記入してください。

★の書類についてはホームページからダウンロードできます。

(<http://www.yokohamamca.ac.jp/jls/>)

- ②修正液は使用しないでください。間違った場合は二重線を引いて訂正してください。

《Ⅰ出願者本人が提出する書類》

①入学願書（YMCA指定書式）★

- ・必ず出願者本人が日本語、中国語または英語で記入してください。

②写真3枚（4cm×3cmを3枚）

- ・写真の裏に氏名・生年月日を書いてください。1枚は願書に貼付してください。

③最終学校の卒業証明書

- ・最終学校の卒業証明書を提出してください。
- ・日本語、英語以外のものは翻訳を添付してください。

④パスポートのコピー

- ・記載事項のある全てのページを学校でコピーします。

⑤在留カードのコピー

- ・在留カードの両面を学校でコピーします。

⑥アンケート（YMCA指定書式）★

《Ⅱ経費支弁者が提出する書類》

①経費支弁書（YMCA指定書式）★

- ・各言語の用紙から1つを使い、日本語の用紙を翻訳として使ってください。
- ・記入例を参考にして各言語で記入してください。

②身分証明書のコピー

- ・運転免許証、在留カードなど写真付きの身分証明書（両面）のコピーを提出してください。

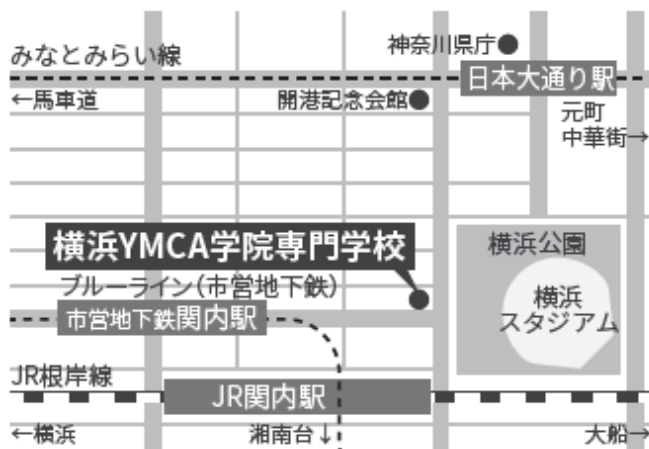
《Ⅲ在日連絡人が提出する書類》

①在日連絡人誓約書（YMCA指定書式）★

- ・必要事項を全て記入してください。

②身分証明書のコピー

- ・運転免許証、在留カードなど写真付きの身分証明書（両面）のコピーを提出してください。



よこはま がくいんせんもんがっこう にほんごがっか
横浜YMCA学院専門学校 日本語学科

〒231-8458 横浜市中区常盤町1-7
 TEL 045-661-0080 FAX 045-651-0223
 E-mail gakuin-jl@yokohamaymca.org

ねぎしせん よこはましえいちかてつ かんないえき とほぶん
 JR根岸線・横浜市営地下鉄 関内駅 徒歩3分
 みなとみらい線 日本大通り駅 徒歩6分



けんこうふくしせんもんがっこう にほんごがっか
YMCA健康福祉専門学校 日本語学科

〒243-0018 厚木市中町4-16-19
 TEL 046-223-1441 FAX 046-223-2101
 E-mail kenko-jl@yokohamaymca.org

おだきゅうせん ほんあつぎえき とほぶん
 小田急線 本厚木駅から徒歩4分